

# 第1学年 国語科学習指導案

## 1 単元名 こえにだしてよもう「くじらぐも」

## 2 単元構想

### こんな子どもだから（子どもの実態）

#### ○関心・意欲・態度

読み聞かせの時間にはどの子どもも興味をもって参加し、日頃から物語の楽しさにふれてきている。物語の学習も好きな子どもが多く、声に出して読む活動も喜んで取り組む。しかし、まだ自分で本を読むことに抵抗がある子どももおり、本を開いても、絵を見て終わる子どももいる。

#### ○コミュニケーション能力

本単元までの学習でも発表したいという意欲は高く、対話も楽しく取り組んでいる。話が長くなると最後まで聞くことが難しい面も見られるが、聞く姿勢についても意識してきており、発表内容についてうなずく等の反応をしながら聞く子どもも増えてきている。夏休みの思い出を友達に発表する学習では、はっきり話すことや内容を考えながら聞くことを経験してきている。

#### ○読む能力

これまでの物語の学習を通して、挿し絵を中心に、叙述とつなぎながら内容の大体を読み取ることができるようになってきている。しかし、叙述をもとに場面の様子を動作化したり音読したりして、登場人物の気持ちを想像を広げて読むことについては、まだ十分とは言えない。叙述を意識せずに想像を広げてしまったり、内容の理解が不十分なために表現できなかつたりする面が見られ、個人差が大きいという実態がある。

### こんな教材で（教材の価値）

#### ○関心・意欲・態度

この作品は、学校、体育の授業、運動場、という身近な場の設定で、青空にくじらぐもが現れるという子どもたちがわくわくするような話の内容になっている。しかも同じ1年生ということで、読者である子どもたちも登場人物に同化しながら想像の世界で遊べる楽しさがある作品である。

#### ○コミュニケーション能力

くじらぐもと子どもたちの会話文が多く、空の冒険という豊かに想像しながら読める場面もあり、子どもたちが楽しく読み進めることができる作品である。くじらぐもになりきって音読や動作化をし、様子を伝え合ったり、対話や全体での伝え合いをして気持ちを話し合ったりして、想像を広げながら読み確かめる中で、コミュニケーション能力を高めることができる。

#### ○読む能力

本教材は、くじらぐもの行動を中心とした場面の様子が、見開きで描かれた挿し絵と対応し、理解しやすい構成になっている。会話文や繰り返しの言葉に着目し、事柄の順序を考えながら、場面の様子や気持ちを想像を広げながら読み取る力を育てるのに適した教材である。子どもたちとくじらぐもが、仲良くなっていく楽しさを味わいながら読み進めていくことができる。

### こんな支援を（学習活動の工夫）

#### 【つかむ段階】

これまでの経験から雲についてのイメージを膨らませ、題名「くじらぐも」についての関心を高める。冒頭の「大きなくじらがあらわれました」という言葉に着目させて、読み通しのめあてをつくるようにする。次に、挿し絵をもとにあらすじをつかみ、読み通しのめあてのこたえをまとめるようにする。くじらぐもの様子やしたことへの疑問を出し合い、読み確かめる計画を立てるようにする。

#### 【たしかめる段階】

くじらぐものしたことを確かめ、会話文や繰り返しの言葉に立ち止まり、音読や動作化をして様子を明らかにする。友達と対話をして、くじらぐもの気持ちを考え、自分の考えをもつことができるようにする。その後、全体での伝え合いをし、考えを確かめたり広げたりするようにする。そして、めあてについて確かになった読みを板書をもとに書きまとめる。くじらぐもが子どもたちと仲良くなっていく様子をハート型のカードの大きさで表し、視覚的に確かめられるようにする。

#### 【まとめる段階】

読み確かめた内容をまとめ、くじらぐもにお手紙を書く。また、読み方についても振り返る。さらに、声に出して読もうのまとめとして、これまでの学習を生かし、登場人物になりきって、劇にするようにする。

### こんな子どもに（単元の目標）

- くじらぐもや子どもたちの様子を進んで考え、楽しく声に出して読むことができる。  
(関心・意欲・態度)
- 挿し絵と叙述をつなぎ、音読や動作化をしたり対話をしたりしながら、くじらぐもの様子や気持ちについて話し合うことができる。  
(コミュニケーション能力)
- くじらぐもが子どもたちと交流する様子や気持ちを、会話文や行動を表す言葉に着目して、想像を広げながら読むことができる。  
(読む能力)
- 子どもたちとくじらぐもの心が通じ合い、仲良くなっていく物語の楽しさを味わうことができる。  
(内容的価値)

3 指導計画（全14時間 国語11+裁量3）

段階	配時	期待する子どもの姿	学習活動と内容	教師の支援
つ か む	5 ①	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 雲の話かな。</li> <li>○ くじらみたいに大きな雲のお話かな。</li> <li>○ くじらぐもが何かするのかな。</li>   <li>○ 急に出てきて、びっくりする感じだな。</li>   <li>○ どうして現れたのかな。</li> <li>○ みんなと一緒に遊びたいのかな。</li> <li>○ これから何をしたいのかな。</li> </ul>	<p>1 題名と冒頭から読み通しのめあてをつくる。</p> <p>(1) 題名「くじらぐも」について話し合う。</p> <p>(2) 冒頭を音読し、挿し絵と叙述からくじらぐもの様子を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ くじらぐもの様子やしたこと</li> <li>○ 冒頭から、物語の設定の確認（いつ、どこで、誰が、どうした）</li> </ul> <p>(3) 題名と冒頭から読み通しのめあてをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空に現れたくじらぐもについて             <ul style="list-style-type: none"> <li>・現れ方</li> <li>・これからしたいこと</li> </ul> </li> <li>○ くじらぐものことでこれから調べたいこと</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>（読み通しのめあて） 空にあらわれたくじらぐもがこれからどうするのだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 雲についてのイメージを膨らませるために、これまでの経験を想起させる。</li> <li>○ くじらぐもの様子を考えさせるために、ペープサートを使って「あらわれました」と「きました」を比べるようにする。</li>   <li>○ 1年2組の子どもたちになって体操の動作化を行い空に現れたくじらぐもについて友達と対話をし、自分の考えを全体で伝え合う。読み通しのめあてにつなぐために、くじらぐもに尋ねたいこと話し合う。</li> </ul>
	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ みんなのまねをして、体操をしている。</li> <li>○ 「ここへおいでよう。」と誘っている。</li> <li>○ 「もっとたかくもっとたかく」と2回も応援した。</li> <li>○ 子どもたちを乗せて、元気いっぱい空を泳いでいる。</li> <li>○ さよならをして元気よく空の中へ帰って行った。</li> </ul>	<p>2 全文を読んであらすじをつかみ、読み通しのめあてのこたえを書く。</p> <p>(1) 全文を音読し、くじらぐもがしたことに線を引く。</p> <p>(2) 挿し絵を順に並べて、それぞれの場面でくじらぐもがしていることを話す。</p> <p>(3) 読み通しのめあてのこたえを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 挿し絵とつないでくじらぐものしたこと書きまとめ             <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの体操のまねをしている。</li> <li>・空へ誘っている。</li> <li>・子どもたちを応援している。</li> <li>・みんなといっしょに空を泳いでいる。</li> <li>・さよならをしている。</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>（読み通しのめあてのこたえの方向） くじらぐもがみんなのまねをしてみたいそうをしたり、空へみんなをさそったり、おうえんしたりした。そしてみんなと空をおよいで、かえっていった。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ くじらぐもがしたことがわかるように、「くじらも」「くじらは」「くじらが」という言葉に着目させ、全文に線を引くようにする。</li> <li>○ お話の大体を話すことができるように、5枚の挿し絵の話をしながら、並び替えさせる。さらに、挿し絵を使って、友達に話の大体を話すことができるようにする。</li> <li>○ 挿し絵と叙述をつないで、読み通しのめあてのこたえが書けるように、5枚の挿し絵の下に、くじらぐもがしたことが書けるような読み取りノートを準備する。</li> </ul>
	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どんなふうに、みんなのまねをしたのかな？</li> <li>○ どうしてみんなのまねをするのかな？</li> </ul>	<p>3 読み通しのめあてのこたえを全体でまとめ、各場面のくじらぐもの様子や気持ちを読み確かめる学習計画を立てる。</p> <p>(1) 読み通しのめあてのこたえを発表し合い、友達の考えと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 考えの違いがわかるように、指名をして発表させ、考えのちがいを比べるようにする。</li> </ul>

- どんなふうに、みんなを誘ったのかな？
- どうしてみんなを誘ったのかな？
- どうして2回も応援したのかな？
- どんなふうに、空を進んで行ったかな？
- どんなふうに、「さようなら」をするのかな？
- どうして元よく帰って行ったのかな？

①

- ここのお話は、「くじらも」と書いてあるよ。
- くじらは子どもたちのまねをしているみたいだね。
- 体操をするのは楽しいからだよ。
- みんなといっしょに体操がしたいからだよ。
- まねをすると、みんなが見つめてくれるからだよ。

①

- 「おうい」って答えているね。
- 「ここへおいでよう」は空に誘っているんだね。
- 空は楽しいからだよ。
- 空でいっしょに遊びたいからだよ。

①

- 「もっとたかくもっとたかく」と2回も応援したんだね。
- 子どもたちに聞こえるように大きな声で言ったよ。
- もっと高く跳んでがんばってほしいからだよ。
- みんなを背中に

- 比べ、見直す。
- (2) くじらぐもが現れたわけについて話し合い読み確かめる計画を立てる。
  - 詳しく読むところ
    - ・子どもたちのまねをするくじらぐもの様子や気持ち
    - ・子どもたちを誘うくじらぐもの様子や気持ち
    - ・子どもたちを応援するくじらぐもの様子や気持ち
    - ・子どもたちと空を泳ぐくじらぐもの様子や気持ち
    - ・子どもたちとさようならをするくじらぐもの様子や気持ち

#### 4 学習計画をもとに読み確かめる。

- (1) 体操のまねをするくじらぐもの様子や気持ちを読み確かめる。
  - 本時場面の音読とくじらぐもがしたこと
  - 体操している子どもたちのまねをするくじらぐもの様子や気持ち
    - ・子どもたちがするのをよく見て、同じようにする様子
    - ・いっしょに遊びたい、気がついてほしい気持ち
  - 読み確かめたことの書きまとめ

- (2) 子どもたちを空へ誘うくじらぐもの様子や気持ちを読み確かめる。
  - 本時場面の音読とくじらぐもがしたこと
  - 空に誘うくじらぐもの様子や気持ち
    - ・「よびました」と「こたえました」の違い
    - ・「ここ」の場所の違い
    - ・空でいっしょに遊びたい気持ち
  - 読み確かめたことの書きまとめ

- (3) 子どもたちを応援するくじらぐもの様子や気持ちを読み確かめる。
  - 本時場面の音読とくじらぐもがしたこと
  - みんなを応援するくじらぐもの様子や気持ち
    - ・応援している時の声の大きさや表情や動き
    - ・あきらめないで跳んで、早く空に来てほしい気持ち

- 学習計画を各場面に位置づけるためにそれぞれのくじらぐもに名前をつける。
  - ②たいそうくじら
  - ③おさそいくじら
  - ④おうえんくじら
  - ⑤およぎくじら
  - ⑥さよならくじら
- 読み確かめるための学習計画を立てることができるように、教師が問い返しをしながら、子どもたちに疑問を出させていくようにする。出された疑問は、「はてなカード」として場面に位置づける。

- くじらぐもが子どもたちのまねをしていることに気付くことができるように、音読や動作化をさせたり、助詞「も」に着目させたりする。
- くじらぐもの気持ちを考えるために、くじらぐもがまねをするわけを友達と対話をして書き、自分の考えを全体で伝え合うようにする。
- くじらぐもと子どもたちがどれくらい仲良くなったかをハート型のカードを使って表し、場面ごとに比べていくようにする。
- まねばかりしていたくじらぐもの変化に気付くことができるように、くじらぐもと子どもたちに分かれて音読や動作化をするようにする。
- くじらぐもの気持ちを考えるために、くじらぐもが空に誘うわけを友達と対話をして書き、自分の考えを全体で伝え合うようにする。
- 書きまとめがしやすいように、読み確かめたくじらぐもの様子や気持ちを色分けして板書する。

- くじらぐもの気持ちの高まりを読み確かめることができるように、助詞「が」や繰り返しの言葉に着目させ、音読や動作化をさせる。
- くじらぐもの気持ちを考えるために、くじらぐもが応援するわけを友達と対話をして書き、自分の考えを全体で伝え合うようにする。
- 読み確かめたくじらぐも

	<p>早くのせたいからだよ。</p> <p>① ○ くじらぐもさんが張り切ってみんなを連れて行っているんだね。 ○ 海には○○が見えるよ。 ○ 村には○○があるよ。 ○ 町には○○があるよ。 ○ みんなと空の散歩ができて嬉しいからだよ。 ○ みんながこんなに喜んでくれたからだよ。</p> <p>① ○ くじらさんは、にこにこしてるね。 ○ みんなも手をいっぱいふっているよ。 ○ くじらぐもも大きく手をふっているよ。 ○ みんなとたくさん遊べてよかったからだよ。 ○ みんながあんなに手をふってくれたからだよ。 ○ 子どもたちと友達になったからだよ。</p>	<p>○ 読み確かめたことの手書きまとめ</p> <p>(4) 子どもたちを乗せて、空を泳ぐくじらぐもの様子や気持ちを読み確かめる。 ○ 本時場面の音読とくじらぐもがしたこと ○ 子どもたちを乗せて空を泳ぐくじらぐもの様子や気持ち ・張り切って空を泳ぐくじらぐもの様子 ・空から見える景色 ・空で子どもたちと遊んで喜んでいるくじらぐもの気持ち ○ 読み確かめたことの手書きまとめ</p> <p>(5) ジングルジムにみんなを降ろして帰って行くくじらぐもの様子や気持ちを読み確かめる。 ○ 本時場面の音読とくじらぐもがしたこと ○ 「さようなら」をする子どもたちの様子や気持ち ○ 空へ帰っていったくじらぐもの様子や気持ち ・「さようなら」をするくじらぐもの表情や動き ・だんだんと心が通じ合い、友達になって喜んでいる気持ち ○ 読み確かめたことの手書きまとめ</p>	<p>の様子と気持ちを色分けして板書する。</p> <p>○ くじらぐもの様子がわかるように、「くじらは」の「は」に着目させる。 ○ 場面を豊かに想像しながら読ませるために、挿し絵と「うみのほうへ、むらのほうへ、まちのほうへ」という叙述を結びつけ発表させる。 ○ くじらぐもが空の中を元気いっぱい進んで様子をふくらませるために、「あおいあおい」や「どこまでもどこまでも」の叙述とつなぐ。</p> <p>○ くじらぐもも子どもたちも楽しい時間を一緒に過ごし、満足していることがとらえられるように、挿し絵と叙述から、登場人物の様子や表情に注目させる。 ○ くじらぐもと子どもたちがだんだん仲良くなってきたことを、前時までの学習を挿し絵をもとに振り返るようにする。 ○ くじらぐもの気持ちを考えるために、くじらぐもが元気よく帰っていくわけを友達と対話をして書き、自分の考えを全体で伝え合うようにする。</p>
／ ま と め る	<p>1 ○ くじらぐもと子どもたちは、だんだん仲良くなってきたね。 ○ くじらぐもと子どもたちが友達になってよかったな。 ○ くじらぐもは子どもたちに空の景色を見せることができてよかったね。</p> <p>(裁量3) ○ みんなに聞こえるように、大きな声で言おう。 ○ 気持ちをこめてせりふを言わないといけないね。 ○ 詳しくなったことをせりふに入れよう。</p>	<p>5 読み確かめてきたことをもとに読みのまとめをする。</p> <p>(1) これまでの詳しくなった読みを振り返る。 (2) くじらぐもにお手紙を書く。 (3) 使った読み方を振り返る。 ○ 助詞「も」「が」「は」 ○ 繰り返しの言葉や会話文 ○ 言葉を比べて読む</p> <p>(4) これまでの学習を生かして「くじらぐも」の劇をする。 ○ 劇をするための工夫 ・声の大きさ ・せりふの言い方 ・動き ○ 班ごとの発表会</p>	<p>○ お家の人へ詳しく読み確かめたこと伝えるために、掲示物や読み取りノートをもとに振り返るようにする。 ○ 読み確かめたことをもとに、自分の考えを手紙に書きまとめるようにする。 ○ 使った読み方はこれからも使えるように掲示していく。</p> <p>○ 班で劇にする場面を選ばせ、自分たちで活動できるようにする。 ○ 登場人物になりきって劇をすることができるように、せりふの言い方を工夫するように声かけをする。</p>

# 第1学年 本時指導案

1 本時 「題名と冒頭からくじらぐもの様子を読み取り、読み通しのめあてをつくる場面」(1/14)  
【コミュニケーション1】

## 2 本時の目標

- 題名「くじらぐも」について話し合い、冒頭のくじらぐもの様子を読み取り、これからくじらぐもがしたことに着目して読んでいこうとする意欲をもつことができる。

## 3 本時の見どころ

本時は、題名と冒頭の読みから、読み通しのめあてをつくる場面です。そのために、体操の動作化をして、空に現れたくじらぐもを見つけた子どもたちの気持ちになり、友達と対話をして全体で伝え合い、さらにくじらぐもに尋ねたいことを話し合っ、本時の目標にせまります。

## 4 本時指導の考え方

本時は、題名「くじらぐも」について話し合い、冒頭のくじらぐもの様子を読み取り、これからくじらぐもがしたことに着目して読んでいこうとする意欲をもち、読み通しのめあてにつないでいくことが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- まず、めあてを確かめ、題名について話し合う。子どもたちは、運動場で空を見上げ、雲について話し合う経験をしている。この経験や、雲やくじらについて知っていることから題名「くじらぐも」のイメージを広げ、これからの学習に興味をもたせる。
- 次に、挿し絵を見せ、くじらぐもは、大きな、真っ白い、雲のくじらであることを確かめる。冒頭文を読み、視写をすることで、くじらぐもの様子やしたことを明らかにする。さらに、いつ、どこ、誰などの物語の設定をおさえる。「大きなくじらがあらわれました。」という叙述に目を向けさせ、「あらわれました」と「きました」の言葉の違いをペープサートを使って考え、子どもたちを見つけていきなり現れたことを確かめる。
- そして、子どもたちが体操の動作化をしている時に、大きなくじらぐもの挿し絵を出し、空に現れたくじらぐもを見つけた子どもたちになりきって友達と対話し、全体で伝え合う。さらに、くじらぐもに尋ねたいことを話し合う。教師が子どもの考えを受けとめ、問い返ししながら子どもの考えを高めるようにし、「空にあらわれたくじらぐもが、これからどうするのだろう。」という読み通しのめあてにまとめていきたい。

## 5 板書計画

<p>よみとおしのめあて 「よみとおしのめあて 空にあらわれたくじらぐもが、 これからどうするのだろう。」</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <span>さし絵</span> </div>	<p>まっしろい くものくじらです。 ↑ ↓ きました。</p>	<p>空に だれ どうした 大きなくじらがあらわれました。 ↑ ↓ ことどもたちをみつけて いきなり きました。</p>	<p>四時間目のことです。 だれ 一年二くみの子どもたちが どこ・うんどうじょう たいそうをしていると どこ 空に</p>	<p>くじらぐも うみー空 大きい、しろい、ふわふわ くじらのかたち なかがわり えこ ？くもがでてくるおはなしかな。 ？くじらぐもがなにかするのかな。</p>	<p>めあて だいいいと おはなしのはじめから、 よみとおしのめあてをつくらう。</p>
		<p>ねえねえ、くじらさん、 ？どうしてあらわれたの。 ？いっしょにあそびたいの。 ？これからなにをしたいの。</p>	<p>・いきなりきてびっくりしたね。 ・手をあげて、たいそうをしているね。 ・ぼくたちをみてるよ。</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <span>さし絵</span> </div>		

6 本時の展開

配時	期待する子どもの姿	学習活動と内容	教師の支援
2分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今日から「くじらぐも」の勉強だ。</li> <li>○ どんなお話かな。</li> </ul>	<p>1 本時学習のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>だいめいとおはなしのはじめから、よみとおしのめあてをつくろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新しい単元の学習であることをおさえ、学習への意欲を高めるようにする。</li> </ul>
10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 雲とかくじらとかおもしろそうだな。</li> <li>○ 雲は、空に浮かんでるよ。</li> <li>○ くじらみたいに大きな雲のお話かな。</li> <li>○ くじらぐもが何かするのかな。</li> </ul>	<p>2 題名について話し合う。</p> <p>(1) 題名を読んで、楽しそうなこと、わかることや疑問を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 雲やくじらについて</li> <li>○ くじらぐもについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 雲やくじらについてのイメージを広げるために、これまでの経験を想起させる。</li> <li>○ 題名からわかることや疑問を出し合わせて、冒頭を読もうとする意欲を高めるようにする。</li> </ul>
20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ やっぱり、大きな空の雲だったんだ。</li> <li>○ 本当にくじらに似ているな。</li> <li>○ 子どもたちを見つけていきなり出てきたんだね。</li> </ul>	<p>3 冒頭を読んで、話し合う。</p> <p>(1) 本時場面を音読する。</p> <p>(2) くじらぐもの叙述がある文を視写する。</p> <p>(3) 冒頭の文からわかることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ (いつ) 4じかんめ</li> <li>○ (だれ) くじらぐも, 1ねん 2くみの子どもたち</li> <li>○ (どこ) 空, 運動場</li> </ul> <p>(4) 「あらわれました。」の様子について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 動き方や速さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢や口形に気を付けて、音読させる。範読の後、くじらぐもの様子を考えながら一斉読みをさせる。</li> <li>○ くじらぐもの様子を確かにするために、挿し絵と叙述をつなぎながら話し合うようにする。</li> <li>○ くじらぐもが子どもたちを見つけて急に出てきた様子が想像できるようにペープサートを使って、「あらわれました」と「きました」を比べるようにする。</li> </ul>
10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いきなり出てきたから、びっくりしたね。</li> <li>○ くじらぐもも、手を動かして体操をしているみたいだね。</li> <li>○ ぼくたちの方を見ているよ。</li> <li>○ くじらぐもはどうして現れたのかな。</li> <li>○ くじらぐもは体操がしたいのかな。</li> <li>○ これから何かしたいのかな。</li> </ul>	<p>4 読み通しのめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(1) 体操をする動作化をし、空に現れたくじらぐもについて対話をして伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現れ方</li> <li>○ くじらぐもの様子</li> </ul> </div> <p>(2) くじらぐもに尋ねたいことを話し合い、読み通しのめあてにまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(読み通しのめあて) 空にあらわれたくじらぐもが、これからどうするのだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年2組の子どもたちになって、空に現れたくじらぐもの様子を対話できるように、体操の動作化をし、大きくくじらぐもの挿し絵を出す場を設定する。</li> <li>○ 友達と向き合い、うなずいたり、共感的な言葉をかけたらしながら対話ができるように声をかけていく。</li> <li>○ 子どもたちの疑問を読み通しのめあてにつなぐように、くじらぐもに尋ねたいことを出し合うようにする。子どもたちの考えを受けとめ、問い返しながらかめていくようにする。</li> </ul>
3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これからくじらぐもがどんなことをするのか。</li> </ul>	<p>5 本時学習をまとめる。</p> <p>(1) 読み通しのめあてを書く。</p> <p>(2) 本時の読み方を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 板書をもとに、物語の設定を確かめ、読み通しのめあてをつくる学習の進め方や言葉を比べる読み方を振り返るようにする。</li> </ul>

# 第1学年 本時指導案

## 1 本時「子どもたちをさそうくじらぐもの様子や気持ちを読み確かめる場面」(7/14)

【コミュニケーション3】

### 2 本時の目標

- くじらぐもが子どもたちを大きな声で一生懸命誘う様子や、空に来てほしいという気持ちを、想像を広げながら読み確かめることができる。

### 3 本時の見どころ

本時は、くじらぐもが子どもたちを誘う様子や気持ちを読み確かめる場面です。そのために、空に誘っているくじらぐもの動作化を行い、空に誘っているわけを友達と対話をして書き、全体で伝え合うことを通して、本時の目標にせまります。

### 4 本時指導の考え方

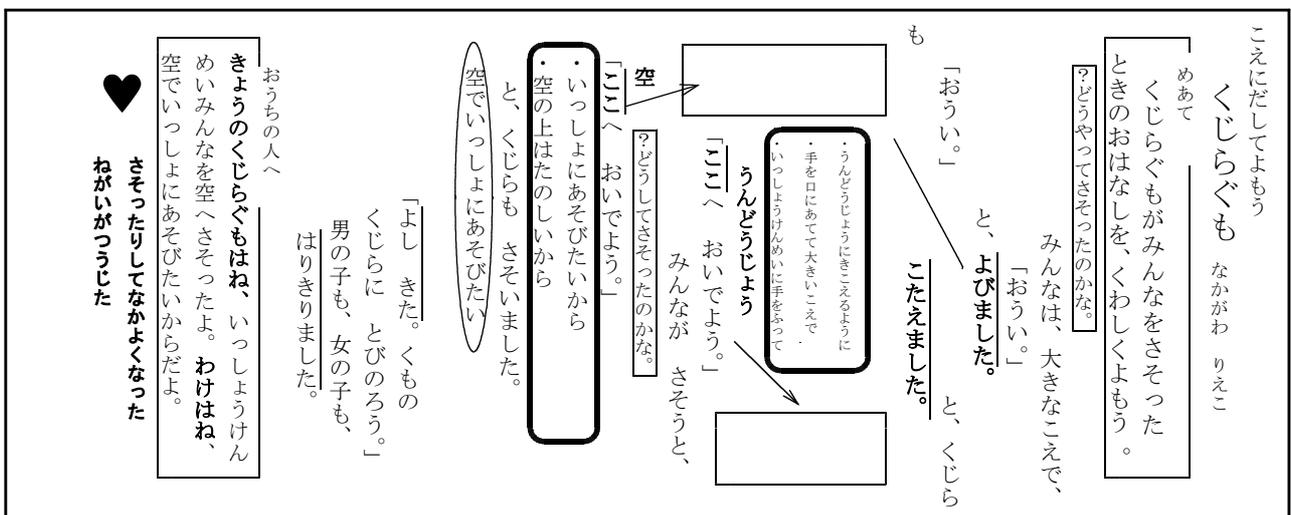
前時までに子どもたちは、1年2組の子どもたちのまねをして体操をするくじらぐもの様子や気持ちを、叙述や挿し絵をもとに読み確かめてきている。

本時は、読み確かめの2時間目で、今までまねばかりしていたくじらぐもが、子どもたちの呼びかけに応え、子どもたちを空へ誘う場面である。運動場にいる子どもたちに応えたり、誘ったりするくじらぐもの様子や気持ちを、想像を広げながら読み確かめることが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- まず、本時のめあてを確認し、挿し絵について話し合い、本時場面を音読する。そして、くじらぐもがしたことを視写して、どんなことをしたのかをおさえる。
- 次に、まねばかりしていたくじらぐもが、本時場面では子どもたちと呼応したり、交流したりしようとする様子が見られるようになったことに気付かせるために、くじらぐもと子どもたちに分かれて音読し、「よびました」と「こたえました」の言葉の違いや「ここへおいでよう。」の「ここへ」の場所の違いを明らかにしていく。さらに、くじらぐもになって、動作化を行い、遠くの運動場に聞こえるように誘っている様子を想像できるようにする。
- そして、くじらぐもがどのような気持ちで子どもたちを空に誘ったのかを考えるために、くじらぐもになりきって、「ここへおいでよう。」と誘ったわけを友達と対話をして書く。そして、自分の考えを全体で伝え合い、子どもたちと空でいっしょに遊びたいというくじらぐもの気持ちに気付かせていきたい。さらに、くじらぐもの気持ちが子どもたちに通じたことを、叙述とつないで読み確かめる。
- 学習のまとめでは、板書をもとに読み確かめたことを振り返る。その後、書き出しを与え、お家の人へ伝えるという相手意識をもたせて書きまとめるようにする。また、言葉の違いを考えたり、同じ言葉を比べて読んだりすることで、くじらぐもの様子や気持ちを考えるという読み方を振り返る。最後に、ハート型のカードを用いて、くじらぐもの気持ちが子どもたちに通じ、前時よりももっと子どもたちと仲良くなれたことを、視覚的にとらえさせるようにしたい。

### 5 板書計画



6 本時の展開

配時	期待する子どもの姿	学習活動と内容	教師の支援
3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今日は、おさそいくじらのお話だな。</li> <li>○ はてなのこたえが分かるといいな。</li> </ul>	<p>1 前時の学習を振り返り、本時学習のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>くじらぐもがみんなをさそったときのおはなしを、くわしくよもう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の「おうちの人へ」を読み、前時の場面を想起する。</li> <li>○ 学習計画表の子どもたちの「はてなカード」を板書に位置付け、めあてにつなぐ。</li> </ul>
7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まず絵からいろいろ見つけるぞ。</li> <li>○ 子どもたちは、くじらぐもを見ているよ。</li> </ul>	<p>2 本時場面を音読し、くじらぐもがしたことをおさえる。</p> <p>(1) 挿し絵について話し合い、音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちの様子</li> <li>・子どもたちの表情、手の動き</li> <li>○ くじらぐもの様子</li> <li>・くじらぐもの表情、形</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ はっきりした発音をするために、姿勢、口形に注意するよう声かけをする。</li> <li>○ 子どもたちとくじらぐもの位置関係を視覚的に捉えやすくするために板書を工夫する。</li> </ul>
23分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ くじらぐもは、なんだかうれしそうに見えるね。</li> <li>○ 子どもたちは運動場へ、くじらぐもは空へ誘っているんだ。まねじゃないね。</li> </ul>	<p>(2) くじらぐものしたことがわかる文を視写し、確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「よびました」と「こたえました」の違い</li> <li>○ 「ここ」の場所の違い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ くじらぐもが、まねではなく子どもたちの呼びかけに応じたことをとらえさせるために、「よびました」「こたえました」「ここ」という言葉に着目させるようにする。</li> </ul>
12分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちに聞こえるように頑張って誘ったよ。</li> <li>○ くじらぐもは、どうして空に誘ったのかな。</li> <li>○ くじらぐもは、空でいっしょに遊びたいから誘ったんだね。</li> <li>○ 願いが伝わって、よかったね。</li> </ul>	<p>3 子どもたちを空へ誘うくじらぐもの様子や気持ちについて話し合う。</p> <p>(1) 音読・動作化から、くじらぐもがどんな様子で誘ったのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運動場に聞こえるように</li> <li>○ 手に口を当てて大きな声で</li> <li>○ 一生懸命に手をふって</li> </ul> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>(2) くじらぐもが、「ここへおいでよう。」と誘ったわけについて、友達と対話をして書き、全体で伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空の上は楽しいから</li> <li>○ いっしょに遊びたいから</li> </ul> </div> <p>(3) くじらぐもの気持ちが子どもたちに伝わったことを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ はりきった子どもたちの様子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ くじらぐもの様子や気持ちを考えるために、教師が子どもたちになり、子どもたちはお面をかぶってくじらぐもになり、動作化をするようにする。</li> <li>○ くじらぐもの空に誘った気持ちを考えさせるために、友達に尋ねたり、うなずいて聞いたりしながら対話ができるように声をかける。</li> <li>○ 子どもたちの考えを受けとめ、問い返しをしながら、考えを高めていくようにする。</li> <li>○ くじらぐもの気持ちが伝わったことをとらえさせるために、子どもたちの言葉や様子の叙述を音読して、確かめるようにする。</li> </ul>
12分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ はてなのこたえがわかったよ。</li> <li>○ 今日のくじらぐもはね、子どもたちと空で一緒に遊びたかったから空に誘ったんだよ。</li> <li>○ 気持ちが伝わって、前よりもっと仲良くなれたね。</li> </ul>	<p>4 本時学習をまとめる。</p> <p>(1) 本時に読み確かめたことを振り返り、読み確かめたことをお家の人への手紙として書きまとめる。</p> <p>(2) 本時の読み方を振り返る。</p> <p>(3) ハート型のカードを用い、子どもたちとより仲良くなれたことを確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書きまとめがしやすいように、色分けした板書をもとに、くじらぐもの様子と気持ちを書くように助言する。</li> <li>○ 読み方をまとめるために、同じ言葉を比べる読み方を振り返るようにする。</li> <li>○ くじらぐもの空に来てほしい気持ちが子どもたちに伝わり、前時よりもさらに仲良くなれたことを確認するために、ハート型のカードを使って視覚的にとらえるようにする。</li> </ul>





3分	○ 今日はくじらぐもがみんなを応援したところの勉強だな。	1 前時の学習を振り返り、本時学習のめあてを確かめる。 くじらぐもがみんなをおうえんしたときのおはなしをくわしくよもう。	○ 前時の「おうちの人へ」を読み、前時の場面を想起する。 ○ 学習計画表の子どもたちの「はてなカード」を板書に位置付け、めあてにつなぐ。
7分	○ くじらぐもは「もっとたかく。もっとたかく。」と二回も応援しているね。	2 本時場面を音読し、くじらぐもがしたことを視写し、確かめる。 ○ 「天までとどけ、一、二、三。」 →「もっとたかく。もっとたかく。」 「天までとどけ、一、二、三。」 →「もっとたかく。もっとたかく。」 「天までとどけ、一、二、三。」	○ はっきりした発音をするために、姿勢、口形に注意するよう声かけをする。 ○ くじらぐもがより主体的に行動していることに気付くことができるように「くじらが」の「が」をおさえる。
25分	○ 空から大きな声で応援したよ。 ○ 手を口に当てて子どもたちの方を見て応援したよ。 ○ もっと大きな声を出したよ。 ○ もっと手を振って応援したよ。  ○ もっと高く跳んで頑張してほしいからだよ。 ○ 空の景色を見せたいからだよ。 ○ 早く僕の背中に乗せたいからだよ。  ○ くじらぐもに乗れたんだね。	3 子どもたちを応援するくじらぐもの様子や気持ちについて話し合う。 (1) くじらぐもはどんなふうに応援したのか様子を話し合う。 ○ 1回目の「もっとたかく。もっとたかく。」と、くじらぐもが応援したときの様子 ・声の大きさ ・くじらぐもの表情 ・くじらぐもの動き ○ 1回目と2回目の違い  (2) くじらぐもが二回も応援したわけについて、友達と対話をして書き、全体で伝え合う。 ○ もっと高く跳んでほしいから ○ 空のよさを伝えたいから ○ 背中に乗せて遊びたいから  (3) 子どもたちがくじらぐもの上に乗れたことを確かめる。 ○ 「いきなり、なぜが…くものくじらにのっていました。」までの叙述	○ 子どもたちとくじらぐもの位置関係をおさえ、くじらぐもがどんなふうに応援したのかを考えられるように、音読や動作化を取り入れる。 ○ 役になりきることができるように、くじらぐものお面をかぶって動作化するようにする。 ○ くじらぐもの気持ちの高まりに気付くことができるように、1回目と2回目の文字の大きさを変える。 ○ くじらぐもがなぜ応援したのかを考えるために、「やっと30センチ」「こんどは50センチ」という表現の違いに着目するようにする。 ○ くじらぐもが応援した気持ちを考えるために、友達に尋ねたり、うなずいて聞いたりできるように対話をさせる。 ○ 子どもたちの考えを受けとめ、問い返しをしながら、考えを高めていくようにする。
10分	○ はてなのこたえがわかったよ。 ○ 下を見て、大きな声で応援したよ。 ○ 早くみんなを背中に乗せて遊びたかったんだね。 ○ 空で一緒になって、前よりもっと仲良くなれたね。	4 本時学習をまとめる。 (1) 本時に読み確かめたことを振り返り、読み確かめたことをお家の人への手紙として書きまとめる。 (2) 本時の読み方を振り返る。 (3) ハート型のカードを用い、子どもたちとさらに仲良くなれたことを確かめる。	○ 書きまとめやすいように、読み確かめたくじらぐもの様子や気持ちを色分けして板書し、応援している様子とその理由から抜き出して書くように助言する。 ○ 一生懸命応援したら子どもたちが空に来てくれてもっと仲良くなったことをとらえるために、ハート型のカードを用い、視覚的にとらえるようにする。

6 本時の展開

# 第1学年 本時指導案

## 1 本時「子どもたちにさようならをするくじらぐもの様子や気持ちを読み確かめる場面」(10/14) 【コミュニケーション3】

### 2 本時の目標

- くじらぐものがさようならをして空に帰っていく様子や、子どもたちと思いっきり遊んで仲良くなり、元気よく帰っていくときの気持ちを、想像を広げながら読み確かめることができる。

### 3 本時の見どころ

本時は、子どもたちにさようならをするくじらぐもの様子や元気よく帰っていくときの気持ちを読み確かめる場面です。そのために、前時までの場面を振り返り、さようならをするくじらぐもの動作化を行い、満足して空に帰っていくわけを友達と対話をして書き、全体で伝え合うことを通して、本時の目標にせまります。

### 4 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは、誘い合った後に、いっしょに空を泳ぐことができた時の様子や気持ちを叙述や挿し絵をもとに読み確かめてきている。

本時は、読み確かめの5時間目で、くじらぐものが子どもたちにさようならをする場面である。くじらぐものがさようならをする様子や、子どもたちと思いっきり遊んで仲良くなり、満足して空へ帰っていった気持ちを、想像を広げながら読み確かめることが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- まず、本時のめあてを確認し、挿し絵について話し合い、本時場面を音読する。くじらぐものがしたことを視写してどんなことをしたのかをおさえる。
- 次に、挿し絵からさようならをした子どもたちとくじらぐもの様子について話し合う。子どもたちがジャングルジムの上でさようならをした後に言った言葉を考えさせる中で、前時までの学習を挿し絵をもとに振り返る。子どもたちの様子をつないでくじらぐものが大きく手をふって喜んでさようならをする様子を想像し、くじらぐもになって動作化を行う。
- そして、くじらぐものがどうして元気よく帰っていったのかを考えるために、くじらぐもになり元気よく帰っているわけを対話をして書く。そして、自分の考えを伝え合い、子どもたちと仲良くなって、満足して元気よく空に帰って行ったことを読み確かめたい。
- 学習のまとめでは、板書をもとに読み確かめたことを振り返る。その後、書き出しを与え、お家の人へ伝えるという相手意識をもたせて書きまとめるようにする。最後に、ハート型のカードを用いて、子どもたちとくじらぐものが、だんだん仲良くなって気持ちが通じ合い、友達になることができたことを視覚的にとらえさせるようにしたい。

### 5 板書計画



なかよくなって、  
ともだちになれた

おうちの人へ  
きょうのくじらぐもはね、大きく手をふって「ありがとう。」といいながら、さようならしたよ。  
げんきよくかえったわけはね、みんなとたくさんあそべて、ともだちになつてうれしかったよ。

「さようなら。」  
くものくじらは、  
また、げんきよく  
あおい空のなかへかえっていきました。  
?どうしてげんきよくかえつていったのかな。

?どんなふうにはさようならをしたのかな。  
「さようなら。」  
みんなが、手をふったとき  
四じかんめのおわりの  
チャイムがなりだしました。

くじらぐもは、  
ジャングルジムのうえに  
みんなをおろしました。  
「では、かえろう。」  
と、くじらは、まわれ右を  
しました。  
しばらくいくと、がつこうの  
やねが、見えてきました。

こえにだしてよもう  
くじらぐも  
なかがわりえこ  
めあて  
くじらぐもがげんきよく空へかえって  
いったときのおはなしをくわしくよもう。  
「おや、もうおひるだ。」  
せんせい うでどけいを  
見て、おどろくと

6 本時の展開

配時	期待する子どもの姿	学習活動と内容	教師の支援
3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今日にくじらぐもが帰っていったところの勉強だな。</li> <li>○ はてなのこたえがわかるといいな。</li> </ul>	<p>1 前時の学習を振り返り、本時学習のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>くじらぐもがげんきよく空へかえっていったときのおはなしをくわしくよもう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の「おうちの人へ」を読み、前時の場面を想起する。</li> <li>○ 学習計画表の子どもたちの「はてなカード」を板書に位置付け、めあてにつなぐ。</li> </ul>
7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ みんなは、ジャングルジムの上から手をふっているね。</li> <li>○ くじらぐもも笑っているみたいだね。</li> </ul>	<p>2 本時場面を音読し、くじらぐものしたことをおさえ、視写する。</p> <p>(1) 挿し絵について話し合い、音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちの様子</li> <li>○ くじらぐもの様子</li> </ul> <p>(2) くじらぐものしたことがわかる文を視写し、確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みんなをおろしました」</li> <li>○ 「げんきよく、かえっていききました」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ はっきりした発音をするために、姿勢、口形に注意するよう声かけをする。</li> <li>○ 子どもたちとくじらぐもの位置関係を視覚的にとらえやすくするために、板書を工夫する。</li> </ul>
25分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ また、遊びに来てね。</li> <li>○ 空のぼうけんは、楽しかったよ。</li> <li>○ 遊んで楽しかったよ。</li> <li>○ 友達になれて嬉しかったよ。</li> <li>○ いっぱい手をふっているよ。</li> <li>○ 大きな声で手をふっているよ。</li> <li>○ みんなと遊べて楽しかったからだよ。</li> <li>○ みんなが手をいっぱい振ってくれて嬉しかったからだよ。</li> <li>○ 友達になることができたからだよ。</li> </ul>	<p>3 さようならをする子どもたちと空へ帰っていったくじらぐもの様子や気持ちについて話し合う。</p> <p>(1) さようならをする子どもたちの様子や気持ちについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大きく手をふっている様子</li> <li>○ 「さようなら」に続く言葉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に遊んだこと</li> <li>・友達になれたこと</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 挿し絵からくじらぐもが「さようなら」をした様子を動作化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ くじらぐもの声の大きさや表情や動き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちの様子や気持ちを、前時までの挿し絵をもとに振り返る。</li> <li>○ くじらぐもと子どもたちとの心のつながりを読み取れるように、叙述と挿し絵をつないで、くじらぐもと子どもたちの様子を話し合う。</li> <li>○ くじらぐもが、満足していることをとらえるために、表情に注目させるようにする。</li> <li>○ 友達と向き合い、うなずいたり、共感的な言葉をかけたりしながら対話できるように声をかけていく。</li> <li>○ 子どもたちの考えを受け止め問い返ししながら、考えを高めていくようにする。</li> </ul>
10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ はてなのこたえがわかったよ。</li> <li>○ 今日にくじらぐもはね、大きく手をふってさようならしたね。元気よく帰ったわけは、みんなと友達になれてうれしいからだよ。</li> <li>○ みんなとだんだん仲良くなって友達になれたね。</li> </ul>	<p>4 本時学習をまとめる。</p> <p>(1) 本時に読み確かめたことを振り返り、お家の人へのお手紙として書きまとめる。</p> <p>(2) 本時の読み方を振り返る。</p> <p>(3) ハート型のカードを用い、子どもたちと友だちになることができたことを確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書きまとめがしやすいように、色分けした板書をもとにくじらぐもの様子や気持ちを書くように助言する。</li> <li>○ くじらぐもが、子ども達と一緒に楽しく遊んで仲良くなり、友達になることができたことをとらえるために、ハート型のカードを使い視覚的にとらえるようにする。</li> </ul>